



令和4年12月1日からの供用開始に向け工事を進めている「きみさらず聖苑（写真は木更津市新火葬場の9月下旬の様子）」。市内に住所がある方の使用料は変更になります。（12歳以上7,000円・12歳未満4,000円→16歳以上12,000円・16歳未満無料）



「ベレーをかぶったダイヤモンド富士」

写真提供：大堀・馬淵 健夫 さん

富津絶景⁴⁸

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、欲びを分けてください。皆様のご応募をお待ちしております。（上記編集先まで）

決算審査特別委員会報告…… 2～3 P

9月定例会…… 4 P

議決結果…… 5 P

代表質問…… 6～7 P

個人質問…… 8～11 P

トピックス・定例会日程…… 12 P

◆決算審査特別委員会

令和3年度決算審査特別委員会（8人）において9月13日から2日間にわたり、一般会計歳入歳出及び特別会計歳入歳出について、決算書・主要施策の成果説明書を用いて審査を行いました。

委員会審査において、今後の行政運営にどのような改善がなされるべきか、様々な観点から検証を行い、事業評価と次年度予算等へどう反映されるか等を審査しましたので、主な質疑を報告します。

◆一般会計歳入歳出決算

《歳入について》

- ・個人市民税が前年度と比較して減少している理由、および収納率向上への取り組み
- ・市税が前年度と比較して減少している理由、および今後の動向

《歳出について》

●総務費

- ・システム関係費の委託料が増加している要因
- ・職員からあった業務改善等の提案の内容と採用状況
- ・庁舎管理費における自動水栓化工事の具体的内容およびトイレの洋式化・ウォッシュレット



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から非接触型のセンサー式へ更新

- ・ト設置の予定
- ・分散勤務環境を整えた旧レストラン棟の利用状況
- ・公共施設等マネジメント基金の取り崩し額とその用途
- ・ふるさと納税の寄附金・件数を増加させるための具体策
- ・プロモーションビデオ制作後の評価および今後の視聴拡大方法

●民生費、衛生費

- ・高齢者等へのPCR検査助成事業の推進における周知方法
- ・シルバー人材センター運営事業の会員数および就労実会員数増加に対し、年間就業延べ人数減少の理由
- ・市内に手話通訳者の資格を有している方の人数
- ・訪問入浴事業の対象者および対象外の方が入浴できるその他の事業の有無

- ・生活保護者に対するジェネリック医薬品推進等の協力要請の周知方法
- ・義務化されていない成人歯科健康診査における今後の受診者拡大への取り組み
- ・国保加入者で39歳以下の方への特定健診受診促進手段
- ・特定不妊治療費助成事業における助成額の拡充への検討
- ・第2期君津地域広域廃棄物処理施設整備事業の支出内容

●農林水産事業、商工費、土木費及び災害復旧費

- ・有害鳥獣捕獲事業費が、対前年度比で減少している理由
- ・観光総務関係費が、対前年度比で減少している理由
- ・頻繁に依頼のある街路樹伐採などの主な場所
- ・公園管理の街灯保守の点検頻度と補修判断基準



街灯を覆っている街路樹を伐採する様子

▼各会計別決算額

会 計 名		予算現額	歳入総額	歳出総額	差引額
一	般 会 計	227億6,128万2千円	220億5,842万3千円	205億9,467万1千円	14億6,375万3千円
特別会計	国民健康保険事業特別会計	58億9,521万9千円	57億1,121万5千円	56億1,201万4千円	9,920万円
	後期高齢者医療特別会計	6億8,892万4千円	6億7,240万4千円	6億7,010万6千円	229万9千円
	介護保険事業特別会計	54億1,154万5千円	53億8,301万1千円	52億7,904万7千円	1億396万4千円
	計	119億9,568万8千円	117億6,663万円	115億6,116万7千円	2億546万3千円

※歳入総額、歳出総額、差引額については、千円未満は四捨五入しているため、合計額が合わない場合がある。

※一般会計の差引額のうち、2億372万円は翌年度へ繰り越すべき財源となる。

- ・森林整備方針および事業計画の今後の方向性
- ・都市計画基礎調査の内容

●消防費、教育費及び

公債費から予備費

- ・予防伐採負担金の算定方法および予定実施期間
- ・市内小中学校の自動水栓化進捗度
- ・モバイルルーター貸出実績および通信・破損等、問題の有無
- ・生涯学習バスにおいて予定稼働日数に及ばなかった際の委託料への影響
- ・市民会館利用件数減少に対し、利用者数増加の理由
- ・図書の貸出利用者数および貸出冊数が増えた理由
- ・高宕山の猿と住宅地に出没するはぐれ猿との関係



高宕山自然動物園の様子



日本遺産「候補地域」の有償ガイド育成研修の様子

- ・鋸山の日本遺産認定に向けた事業内容

●総括的質疑

- ・実質収支額のうち、国への返還金額
- ・令和3年度における新型コロナウィルス関連費用の総決算額

等の質疑があり、反対・賛成討論の後、賛成多数で認定されました。

◆国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算

- ・前年度と比較しての受診控えの動向
- ・コロナ前と比較しての特定健診実施状況
- ・不納欠損額の内訳
- ・県内における富津市の徴収率の順位

等の質疑があり、反対・賛成討論の後、賛成多数で認定されました。

◆後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算

- ・後期高齢者医療広域連合納付金の見通し
- の質疑があり、反対・賛成討論の後、賛成多数で認定されました。

◆介護保険事業特別会計 歳入歳出決算

- ・健康寿命および平均寿命の改善数値
 - ・訪問調査員の人数と報酬
 - ・住民主体によるサービスの支援内容
- 等の質疑があり、賛成討論の後、全員の賛成で認定されました。



決算審査特別委員会の様子

▼基金一覧表（令和3年度末現在高）

区 分	前年度末残高	決算年度末残高	区 分	前年度末残高	決算年度末残高
財政調整基金	22億6,074万7千円	25億468万6千円	公共施設等マネジメント基金	7億1,070万円	9億9,191万3千円
土地開発基金	1,000万円	0円	学校施設整備基金	456万7千円	456万7千円
学校教育振興基金	1億872万4千円	3,242万4千円	森林環境基金	1,453万9千円	2,032万6千円
福祉振興基金	1,658万7千円	1,649万4千円	図書整備基金	0円	500万円
児童福祉基金	9,071万3千円	4,871万5千円	国民健康保険基金	7億7,332万3千円	6億8,763万5千円
交通遺児等福祉基金	1,564万5千円	1,564万5千円	高額療養費貸付基金	851万9千円	851万9千円
漁業振興基金	2,130万7千円	2,084万7千円	高額療養費貸付基金(貸付金)	0円	0円
青少年国際交流基金	191万3千円	171万3千円	国民健康保険出産費貸付基金	300万円	0円
社会教育施設管理運営基金	4,201万4千円	3,933万9千円	介護保険給付費準備基金	3億7,172万7千円	3億4,160万7千円
中山間地域農村活性化基金	48万2千円	48万2千円	合 計	44億5,450万7千円	47億3,991万2千円

9月 定例会

令和4年9月定例会は、8

月26日から9月22日までの

28日間で開催されました。

議案20件、報告4件について

審議を行いましたので、その

主なものを報告します。な

お、議案等の採決の結果は、

5ページをご覧ください。

◆条 例 等

▼財産の取得の変更（青堀保育園園舎等）

取得する保育園園舎等の登記床面積の変更に伴い、延床面積を変更するものです。

▼財産の取得（市立図書館用図書）

市立図書館用図書5万4050冊を取得するものです。

◆補 正 予 算

▼一般会計

(1)補正予算第5号

（補正額 5千万円）

法人市民税の確定申告に伴う中間納付額の還付が発生したため、賦課徴収関係費（過誤納還付金）に係る経費を補正するものです。

(2)補正予算第6号

（補正額 2799万円）



安全面・防音性を考慮し、商業施設との隣接部分を全面ガラス仕切りに変更する（写真はイメージ）

令和5年4月開館予定の市立図書館の整備について、工事内容が確定し、予算の組み替え及び追加の費用が生じたことに伴い、図書館整備事業に係る経費及びこれに関連する歳入を補正するものです。

(3)補正予算第7号

（1億4089万円）

交通安全施設対策事業、道路維持事業、予防接種事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入を計上するとともに、人事異動に伴う人件費などを補正するものです。

・交通安全施設対策事業

（2245万円）

児童・生徒の通学路の安全を確保するため、通学路合同安全点検の結果を踏まえ、対策工事等を実施する。



区画線設置、滑り止め舗装等を実施する市道湊数馬線

・私立保育園等施設整備事業

（375万円）

学校法人富津学園・明澄幼稚園が、令和5年4月からの認定こども園への移行に向け、3歳未満児の受け入れなど、保育基準を満たすために実施する保育室の整備、トイレの改修工事等に係る補助を行う。

・小学校管理運営費

（56万円）

今後の学校プール整備の方向性を検討するため、吉野小学校で複数の学年での民間施設を利用した水泳授業を実施する。



(4)補正予算第8号

（補正額 2億2042万円）

オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費及びこれに関連する歳入を補正するものです。

【事業概要】

オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンの接種について、初回接種（1・2回目）を完了した12歳以上の方を対象に令和4年10月中旬以降、集団接種及び個別接種を行う。

令和4年9月定例会の 議決結果

※議案20件、報告4件の議決結果は次のとおりでした。

議 案 等	議決結果	宮崎 晴幸	渡辺 純一	三富 敏史	福田 好枝	関 努	猪瀬 浩	諸岡 賛隆	三木 千明	千倉 淳子	山田 重雄	平野 英男	佐久間 勇	渡辺 務	平野 明彦	福原 敏夫	石井志郎 (議長)
令和4年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めること	原案承認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の降給に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
工事請負契約の締結(一般廃棄物最終処分場下水道放流施設工事)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の取得(市立図書館用図書)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の取得の変更(青堀保育園園舎等)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度決算に基づく健全化判断比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専決処分の報告(3件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

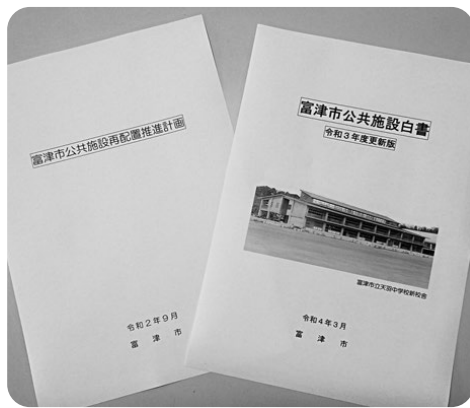
議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び『～について』は省略表示しています。

○=原案賛成 ●=原案反対 欠=欠席

* 会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内（質疑応答で70分・60分）であれば、同じ会派の人が関連質問をすることができます。
* 紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
総務参与（総務部参与） 健福部長（健康福祉部長）
建経部長（建設経済部長）

暮らしの充実

問 公共施設の維持管理は、施設がある限り必要になる。市公共施設白書では「利用実績、改修の概要やその費用がどれくらい掛かったか」などは読み取ることができ、が「修繕をいつ行うのか」、「今後どのように管理を行っていくのか」判断をするのは、個別施設計画だと思う。再配置の考え方について、今回、各施設について質問したが、施設ごとにいろいろな計画の中、進めていることは理解している。公共施設再配置推進計画では、各施設について記載されているが、コミュニティセンターや公民館のように集約するものもある。今回の質問を考えるに当たり、いろいろ調べ、質問への市の回答で「施設の在り方は、多くの施設で既に示されているのではないか」と思った。それであれば、施設をこのまま使用していく場合など、維持管理費等を明確に記載した個別施設計画を作成し、だから「施設を維持することは難しい」、「壊したい」、「統合したい」という考え方を具体的に示して、公共施設の再配置を進めるべきだと思うが、今後どのように行っていくのか。



総務参与 個別施設計画は、各施設における建物や設備の健全性や劣化状況、対策に必要な費用の試算などを明らかにするものであり、公共施設再配置推進計画の中で、更新を行わないこととしている施設や、在り方の検討を行っている施設以外のものについては、昨年度中に各施設担当課において策定を完了した。

公共施設の再配置に当たっては、市民や議会と問題意識や施設の利用等を共有し、相互理解の上、検討を進めていくことが重要だと考えている。個別施設計画の内容を踏まえながら、丁寧な説明と合意形成を図っていく。

政友会



諸岡 賛陸
議員

ふれあい公園の活用 子育てについて

問 市内外の多くの方に利用されているふれあい公園の現状は。

市長 公園は、6つに分かれたゾーンの中に野球場、陸上競技場、テニスコート、散歩に適した園路等が設置され、令和元年度から指定管理者として、富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体が施設の利用振興運営に当たっている。

問 公園内の有料施設の利用状況は。

建経部長 令和2年度は3万5089人、令和3年度は6万4690人。

問 利用休止している施設とその理由は。

建経部長 富士見グリーンテニスコート4コートのうち、3コートの路面状態が悪く、令和3年度から貸し出しを中止している。

問 今後の施設の活用方法は。

建経部長 他市の優良事例の収集や利用者等から意見を伺い、フットサルなどの施設への転換等も含め、改修について検討していく。

問 放課後児童クラブなどの子育て支援事業の現状は。

市長 市独自に行っている主な事業は「ふつつ子育てきずなLIN

放課後児童クラブ利用者数の推移

区分	クラブ数	利用者数
令和元年度	9	194人
令和2年度	8	187人
令和3年度	9	252人
令和4年度	9	287人

令和元年度から令和3年度は3月末時点、令和4年度は4月1日時点の利用者数

Eの配信」、「妊産婦に対するタクシー運賃助成事業」等を実施している。また、放課後児童クラブに対する支援を行い、現在9クラブにより、全小学校区の児童が利用できる環境を整備している。

問 放課後児童クラブの利用者数の推移は。

健福部長 左表のとおり。

問 行政として放課後児童クラブ運営者と、どのように情報交換し、関わりを持っているのか。

健福部長 クラブの運営者に対し、運営に係る経費など12項目の補助制度を整備し、支援している。また、富津市放課後児童クラブ連絡協議会を設置し、課題解決に向けて情報交換を行い、利用する児童・保護者の支援に当たっている。

政友会



宮崎 晴幸
議員

公共交通の現状と 今後の市の考えについて

自由民主賢政会



福原 敏夫
議員

問 今年度、地域公共交通計画の改定を予定しているとのことだが、これまで行ってきた主な取り組みと今後の市の考え方は。

市長 市、地域、交通事業者などが連携を図り、各事業を進めている。タクシード利用促進事業については、タクシード運賃助成事業として、令和元年7月から運用を開始し、昨年度から利用者などの要望を踏まえ、1回の乗車につき1枚の助成であったものを2枚とする制度の拡充を行った。「公共交通を必要とする人のためのもの」とあること「公共交通というバトン

を次世代につなぐため、持続可能性を確保するものであること」の2つの考え方を基本にした現計画を引き継ぎ、令和5年度以降の地域公共交通のマスタープランとなる「次期富津市地域公共交通計画」を策定する。

問 計画の中で達成できなかった部分は。

総務参与 路線バスの再編事業、小中学校の再配置に伴うスクールバスの有効活用事業などがある。

問 市が補助しているバス路線の10年前と直近5年間の市負担額と

乗客数は。

総務参与 左表のとおり。

問 費用対効果の観点で、このまま路線バスを存続させ、補助を続けていくのか。

総務参与 路線バスは現状考えられる交通手段の中では、輸送効率の面、また、安全面などから、信頼性の高い交通であることには変わりはない。費用対効果だけではなく、地域の足の確保といった観点も含め、総合的に判断していく。

問 スクールバスの活用は、どのように考えているのか。

総務参与 スクールバスを地域の移動手段として活用することは、有効な手段と考えているので、今後、導入の可能性について調査研究していく。

バス路線乗客数・市負担額の推移

区分	乗客数	市負担額
平成23年度	144,286人	30,340,854円
平成29年度	120,307人	40,617,956円
平成30年度	119,863人	49,347,159円
令和元年度	109,457人	51,568,649円
令和2年度	80,961人	53,651,130円
令和3年度	69,475人	45,653,076円

市補助路線の数値

住んでよかった富津市、 さらなる富津市の発展に向けて

自由民主賢政会

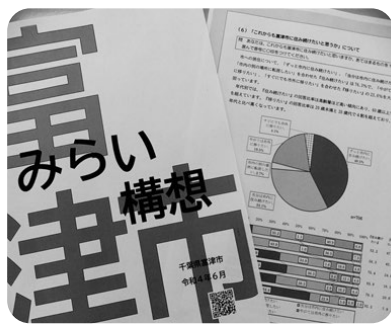


三木 千明
議員

問 1点目、富津市の発展に向けて、市では「富津市の発展」とは、どのような状況、状態をもって富津市の発展を示すと考えているのか。2点目に「住んでよかった富津市」とは、どのような状況、状態をもって認識するのか伺う。

市長 私の考える市の発展とは、今年度策定した「富津市みらい構想」で、将来像として示した目指すまちづくりを実現することで、その実現により、市が重要課題と捉えている人口減少抑制にもつながっていくと考える。また、私の考える「住んでよかった富津市」とは、令和3年度に実施した市民アンケートの中で「これからも富津市に住み続けたいか」の問いに、合計76・3%の方が市内に住み続けたいという結果であったことから、各種施策を着実に実行し、住民の満足度を向上させ、この数値が100%に近づくことが理想だと考える。

問 私は富津市の発展とは、安定的な税収の確保、雇用の確保、このことにより、まちに潤いとさらなる住みやすさがもたらされ、交流人口、定住人口に加え、その中



市民アンケートでは「市内に住み続けたい」が「市外に移りたい」を大きく上回っている

間に位置する関係人口の増加と創出に取り組むことで経済活動が活発化し経済が循環される。それらを踏まえ、突き詰めて言えば富津市の発展とは、市の人口を増やす、現状に即して言い換えれば「人口を減らさない、逃がさない、呼び込む、増やすことである」と断言する。そのためにも市内に多くある市街化調整区域の土地利用を促進させる区域指定制度の導入に向け、取り組んでみてはどうか。

建経部長 都市計画法に規定されている市街化調整区域の許可基準や市で運用している「市街化調整区域における土地利用方針」や「市街化調整区域における地区計画運用基準」も併せて広く周知し、遊休土地の活用を図っていく。

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め45分以内です。紙面の都合でわずかしき掲載できませんので、市役所1階の「行政資料コーナーの会議録」や「議会ホームページ」で詳細をご覧ください。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

健福部長（健康福祉部長） 建経部長（建設経済部長）

◆個人質問

住みやすいまちづくりへの取組ほか



佐久間 勇
議員

問 転入促進の手法と展開は。

市長 移住・定住の地として選ばれるために「住み続けたい、住んでよかった」と思われる住民満足度の高いまちであることが必要。

豊かな自然や都心からのアクセスの良さ、地域にあふれる優しさや温もりを知ってもらうこと。特に子育てや働き世代に関心を持ってもらえるよう、プロモーション映像の配信やSNS等で発信していく。

本年度は、移住や田舎暮らしに興味がある方に、実際に体感してもらい、移住後の生活がイメージできるような事業に取り組む。

問 農水産業に係る就労状況の変遷と支援について伺う。

市長 5年ごとに行われる農林業・漁業センサスを見ても共に減少。安定的で持続可能な経営の確立を図り、担い手の確保・育成につながるよう、経営の負担軽減を目的に施設や機械類の補助事業、多面的機能を発揮するための交付金事業を国・県と連携し実施。

問 住民から上がってきた困りごととどう対応しているか。

総務部長 担当部局で対応する場合や複数の部局で対応する場合が

ある。行政だけでは困難な事案については、各種団体や地域と連携して解決に努めている。

問 農業振興地域の実態は。

市長 農業振興地域は、総合的に農業の振興を図る必要があると認められる地域で、市街化区域、国定公園や国有林等を除く市の面積に対する割合は、約8割を占める。

問 農業振興地域のうち、農地転用できない農用地区域の面積は。

建経部長 農振地域面積の約1割。

問 そのうち、耕作面積は。

建経部長 耕作放棄面積から推計すると、1576ヘクタールで農用地区域内の耕作面積は96%。後継者問題も含め、人・農地プランの実質化を推進していく。



魅力の発信「ようこそふつつ」

富津市職員定員適正化計画 君津中央病院大佐和分院の存続



三富 敏史
議員

問 職員定員適正化計画は、平成26年の財政硬直化に伴う措置として、職員数を削減してきた経緯がある。新たな計画は、様々な行政課題や市民ニーズ、働き方改革に対応するため職員を増員する内容だが、どのように浸透させるのか。

市長 今後は人口減少の進行とともに、AI等の導入によるスマート自治体の取り組みの進展が見込まれる。しかし、防災対策や高齢化等への対応が一層求められる中、住民に直接サービスするのは自治体である。住民満足度を高めていくためには、状況に応じた人数確保は必要と考える。

問 市職員の時間外勤務は直近5カ年平均で年間145時間、1人最大1244時間。月80時間を超える時間外勤務が年6月以上ある場合、血管系疾患の要因となり、死亡リスクが高まると言われる中、時間外勤務の手続は。

総務部長 所属長にシステムで申請し、所属長はその内容を確認した上で承認等を判断している。

問 大佐和分院は、建築から52年が経過し、建物・設備ともに老朽化が進んでいるが、必要最小限の

修繕で施設機能を維持している状況である。法定耐用年数を経過した施設では、安全な医療を提供するのは困難だが、大佐和分院の存続について市の見解は。

市長 大佐和分院は、地域に定着し、子どもから高齢者までが受診する中核病院。君津保健医療圏の二次待機施設として、必要不可欠な医療機関であると認識している。

問 建て替え候補地3カ所の状況は。

健福部長 「①大佐和分院駐車場②富津市役所隣地③浅間山運動公園周辺地」だが、「③」は他の3市からのアクセスや利便性が悪く、インフラが未整備であるため、費用が多額となることが予想されるので候補地としない。



法定耐用年数を経過し老朽化した大佐和分院

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

総務参与（総務部参与）
健福部長（健康福祉部長）
建経部長（建設経済部長）

◆個人質問

住みたいまち 富津市のために



関 努
議員

問 基盤的防災情報流通ネットワークの情報共有について伺う。

市長 千葉県総合防災情報システムを使用している。県内市町村と情報共有を図り情報発信して行く。

問 ドローンを使用しての情報や公共施設のホームページのクラウド化などのシステム構築について。
総務部長 市ホームページ及びウェブ版防災ハザードマップを活用し、情報を周知している。

問 スマートフォン等を活用し、災害時に協定を結んでいる団体の情報を共有するシステムについて。
総務部長 関係部局と連携しながら研究していく。

問 困難女性支援法が成立した。

支援調整会議の設置について伺う。
市長 国が示す「会議の詳細」等を確認し、県や近隣市の動向を注視し、設置について検討していく。

問 女性相談支援員の配置、育成への取り組みについて伺う。

健福部長 国が策定する基本方針等を確認しつつ、県や近隣市の動向を注視し、配置を検討していく。

問 児童福祉法が改正されたが、こども家庭センターの設置について伺う。

健福部長 国が示す詳細等を確認し、設置について検討していく。

問 富津市結婚新生活支援事業の申し込み状況と現状について伺う。
市民部長 昨年度から今年度7月末までに4件。ツイッターや広報ふつつ等で周知を図っていく。

問 大学進学について首都圏の大学に進学し、自宅から通学する学生が増えているようだが、通学定期代が高額となっている。通学補助制度の導入について伺う。

総務参与 定住促進、転出抑制策として実施している事例が、県内にもあるので研究していく。

問 みどりの食料システム法が施行されたが、市の支援体制は。

建経部長 支援策、支援体制について検討を進めていく。



災害時に情報を共有する、基盤的防災情報流通ネットワークシステムのイメージ図

子育て支援と 公共交通対策等について



福田 好枝
議員

問 富津市地域交流支援センター『カナリエ』はとても助かっているという声が多く「このような施設を増やして欲しい」との要望がある。増やす予定はあるか。

健福部長 天羽地区に『カナリエ』、大佐和地区に『もうひとつのお家』の2カ所の子育て支援センターがあるが、富津地区にはない。現在、設置に向け検討している。

問 小中学校の給食費は、どれくらい予算で無償化できるのか。

教育部長 令和4年度の当初予算における児童・生徒分の給食費総額は、1億3512万5千円。無償化するには同額の予算が必要。

問 市単独での無償化は困難か。

教育部長 市単独では、非常に厳しい状況と認識している。

問 子どもの医療費を高校卒業まで助成している自治体はどこか。

健福部長 令和3年8月1日現在、市は銚子市、香取市、いすみ市など10市。町は多古町、御宿町など12町と長生町の23自治体。

問 富津市で高校卒業まで助成した場合の予算はどれくらい必要か。

健福部長 対象児童は千人程度増え、2千万円程度の経費が必要。



居宅の屋外階段に取り付けられた「いす式階段昇降機」

問 君津市は、スクールバスの空き時間を活用したデマンド交通の実証実験を始めたが、富津市でも同じような取り組みができるか。

総務参与 スクールバスの利活用は有効な手段と考えている。導入の可能性について調査研究する。

問 市内の駅には、エレベーターもエスカレーターもない。屋外階段昇降機等の設置をJRに働きかけてみてはどうか。

総務参与 高齢者、障がい者などが鉄道を利用する際のハードルとなっている。JR東日本に対して対策を呼びかけていく。

問 上総湊駅歩道橋の利用が困難な方のために、横断歩道の設置は。

総務部長 状況を確認し、千葉県国道事務所、富津警察署に伝達する。

アフターコロナの健全な 財政運営とは



渡辺 務
議員

問 平成26年夏の財政破綻報道に端を発する市の財政について、現在どんな状況にあると考えるか。

市長 財政については、様々な収支改善策に取り組んできた。財政調整基金残高の確保や財政指標には改善が見られ、一定の成果が得られた。しかし、昨今の情勢を鑑み、引き続き経営改革に取り組んで健全な財政運営を堅持していくことが重要だと考えている。

問 令和3年度決算では普通建設事業費が約13%減少している。これは既存施設の老朽化やインフラの長寿命化に使うべきお金で、公共施設の老朽化の対応は進めなければならぬ。そこで国からの補助金・交付金の推移について伺う。

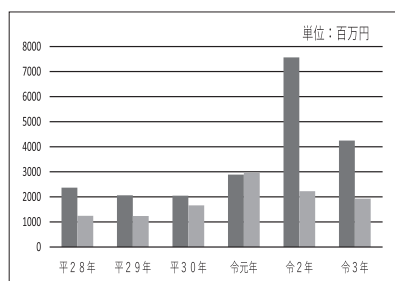
総務部長 下表のとおり。

問 近年の国からの交付金はコロナ禍への対策費が大きい。このことで財政の実態が大変わかりづらくなっている。制度やシステムを導入するのは国のお金を使えるが、その後の維持管理に掛かるコストは自主財源で負担しなければならぬ事業が多い。人件費、扶助費、公債費という、いわゆる義務的経費も増加傾向にあり、これは減ら

したくてもなかなか減らせない歳出だ。財政の健全化を目指すには、職員の携わる事務事業の電子化、ICT化、AI（人工知能）の活用が必要だが、その分野での取り組みを伺う。

総務参与 限られた人員で多様なニーズに対応するためには、AIやICTを活用して業務の効率化を図ることは重要だ。市のホームページでAIが自動応答を行うチャットボットでは、多くの市民の問い合わせに対応している。音声データから自動で文字起こしを行う会議録作成支援システムは、実証実験中であり、導入に向け手書きの文字をスキャナーで認識し、電子データに変換するAIOCRについても調査研究していく。

国庫支出金と普通建設事業費の推移



棒グラフ 左が国庫支出金 右が普通建設事業費
令和2年3年の国からの支出金が増えている（総務部長答弁：平30以降の国庫支出金）

充実した図書体制構築と ふるさと納税について



渡辺 純一
議員

問 市立図書館整備基本計画における「求められる機能」の進捗は。

教育部長 電子図書機能の導入は、来年1月のオープンに向け準備中。その他のICTタグ、自動貸出返却、不正持出防止の各システム、WiFi、タブレット端末の導入は、図書館開館時の導入に向け準備中。

問 （電子図書以外）導入理由は。

教育部長 ICTタグは、距離や障害物があっても情報を読み取れ、且つ複数タグを読み取ることで、約5倍の事務効率化につながる。自動貸出返却は、利用者がカウンターを過ぎずに貸出し・返却が行なえることでプライバシー保護の確保。不正持出防止は、出口ゲートを通過する際に不正持ち出しを検知させ、蔵書の適正管理のため。また、無料WiFiが利用できる環境も整え、スマートフォン等の端末を持たない方にタブレット端末を用意し、利便性向上に努める。

問 各小中学校の学校図書との連携はどうなっている。

教育部長 今年6月から配置の読書支援員3名を窓口とし、ニーズに応じたサービスの提供を推進。

なお、学校図書にはICTタグがなく、管理体制に変化は生じない。

問 次に、ふるさと納税について、目標額に近づけるべく今後の戦略は。

総務参与 一般的に寄附額が高い自治体ほど、高リピート率。リピーター増のため、関係者会議で寄附者満足度アップ取組、クレーム事例などの共有を行い、更なる充実に向け取り組んでいる。また、グランピングなど、アウトドア関連の宿泊施設を新たに返礼品に加えるため、関係事業者と協議中。

問 その他、新しい取り組みは。

総務参与 スマートフォンアプリでポイントを付与し、市内の加盟店・施設で利用できる「ふるさと納税払い チョイスペイ」を導入。



市民サービスを充実させるべく、デジタル技術を活用

公共施設再配置推進計画 （学校施設の整備について）



猪瀬 浩
議員

問 令和2年度の学校統廃合における学校教育の観点からの評判は、**教育長** 保護者から「統合は心配だったが、授業参観や家での子どもの様子から、学校生活を楽しんでいることが分かる」「児童数が増えたことにより、教育指導・子ども同士のトラブルが心配である」等の意見があった。時にはトラブルも起こるかも知れないが、より多くの仲間と切磋琢磨し、たくましい心身が育まれると考えており、複式学級等の解消を目安に再配置の検討は必要と考える。

問 環小と佐貫小が解消条件に該当となったと思うが、市の考えは、**教育長** 佐貫小や環小では、今後複式学級が続くことが予想される。今年度、まずPTA役員並びに保護者の皆様へ説明を行い、理解を得た上で、再配置に向けた計画を作っていくと考えている。

問 青堀小・飯野小・大貫小は、5年前の学校再配置計画の児童数予測と比較して、増となっている。そんな中、飯野小は建築年数が古く、大規模改修も行っていない。地域から、飯野小学校舎外壁の様相があまりにもひどい、いまだに雨

漏りを起こしている等の声を聴くが、飯野小学校舎の対応をどう考えているのか。

教育部長 青堀小の次に整備を考えている。施設の耐力度調査を行い、その結果を踏まえて適切な時期や整備手法を判断していきたいと考える。その間においても、児童や教職員が安心して学校生活を送ることができるよう、環境整備や維持管理を実施していく。

問 青堀小学校舎が新しくなると、新校舎への学区外就学を望む方も増えてくると思う。増えると思うと、学校再配置計画にも影響を及ぼすと思う。対策は、**教育長** 新校舎への通学を希望するといった理由のみの指定校以外の就学申請を認める考えはない。

令和4年度（平成34年度）の児童数

学校名	H29.6予測	R4.5実測	差分
青堀小	611	667	56
富津小	146	149	3
飯野小	162	177	15
大貫小	144	168	24
吉野小	121	123	2
佐貫小	52	43	▲9
旧湊小	188	190	2
旧天神山小			
旧竹岡小			
旧金谷小			
環小	62	53	▲9
合計	1486	1570	84

平成29年6月に定めた富津市小・中学校再配置計画の児童予測数と令和4年5月時点の児童数の比較

富津公園整備・居宅支援サービスの現状と課題等について



千倉 淳子
議員

問 富津公園の今回の整備の経緯は。

市長 令和3年12月、県から市に対し、老朽化した施設の維持改修費用のコスト縮減、地域資源の活用等、再整備の基本的な考え方作成に向け検討会議を立ち上げる旨、説明があった。

問 この整備事業についての市民への周知は。また、市民の意見をどう反映していくのか。

建経部長 市民からの意見収集を行う予定はない。県はパブリックコメントを通じて意見収集を行う予定である。

問 市の考えるマラソンの聖地とは。

建経部長 富津公園の恵まれた環境を生かし、多くのアスリートランナーのトレーニング地として認知・利用され、各種大会やイベントも開かれるような特別な場所と考えている。

問 富津公園周辺と一体化できる方向で進んでほしいと思うが。

建経部長 富津公園のみならず、周辺観光資源との一体的な観光地域づくりを推進していくことが必要であると考えている。



多くのアスリートランナーに利用されている富津公園

問 富津市障害福祉サービスの中で、居宅支援サービスの課題は。
市長 市内で居宅系サービスを提供する事業者が少なく、サービス提供体制の整備が大きな課題。
問 令和3年度に地域生活支援事業に加わった訪問入浴の令和4年度予算の算定根拠は。
健福部長 予算編成時点では、利用している方がいなかったことから、まずは1名分となった。
問 最後に市長、市内障がい者の皆様に何か一言。
市長 富津市に住んでよかった、住み続けたいと、障がいのある方やご家族に思っていただけけるよう、また、地域で暮らしていくことの不安感をできるだけ低減できるように努めていく。

話題

橋銘板設置式



9月26日に市道海岸線（海岸橋）橋銘板設置式が開催され、大佐和地区の全議員6人と佐久間総務産業常任委員長が出席しました。

ふるさとまつり



8月16日にイオンモール富津アゼリアコートで「第45回富津ふるさとまつり」が開催され、12人の議員が出席し、石井議長が来賓として挨拶を行いました。

かずさ四市議会議長会要望活動



10月25日に千葉県庁で、かずさ四市議会議長会による千葉県知事に対する「道路・河川に関する要望活動」を実施し、石井議長・山田副議長が参加しました。

佐貫小・環小視察



10月21日に教育福祉常任委員会協議会で複式学級の現状を視察しました。

令和4年第2回臨時会



10月5日に「令和4年第2回富津市議会臨時会」が開催され、議案1件について審議を行いましたので報告します。

【議案の内容】

・令和4年度一般会計補正予算（第9号）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したプレミアム付商品券事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入を補正するもので、**全員の賛成**で可決しました。

1 プレミアム付商品券事業（5,200万円）

市内での消費喚起策を実施するため、市民や市内に在勤・在学している方を対象に、13,000円分の商品券を1万円で販売する。（12,000冊：1人2冊まで）

2 高齢者（75歳以上）への商品券給付事業（5,377万円）

物価高騰による負担増を踏まえ、主に年金で生活している75歳以上の高齢者を支援するため、市内のプレミアム付商品券取扱店で利用できる5,000円分の商品券を支給する。

3 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業（3億2,049万円）

物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得の世帯を支援するため、住民税非課税世帯に対し、1世帯につき5万円を支給する。

【編集後記】

県が2022年7月時点の地価調査の結果である基準地価を発表した。これが土地取引の指標となってくる。首都圏近郊で自然豊かなのに、なぜ地価が上がらない。

富津は、今ゼッタイ買い時ですよ。景色景観、体験観光、癒しの自然と素材はそろっている。夕焼け富士見て感動するのは北斎だけじゃない。ふと思った。付加価値を高めないや。ふっつの魅力 積極的にPR かぞくと同様 お付き合い かんきょうに恵まれ 心を癒す ちいきとつながる まちづくり

12月定例会日程

11月24日（木）	10時	開会
30日（水）	9時30分	議案の上程
12月1日（木）	9時30分	一般質問
2日（金）	9時30分	一般質問
6日（火）		常任委員会
7日（水）		常任委員会
14日（水）	10時	議長報告 議案審議 閉会

※本会議の中継を
ご覧ください。



市議会ホームページ

（勇）